

氏名	鈴木玲子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	人間工学 看護技術教育 看護教育技法 緩和ケア				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	1999年筑波大学大学院教育研究科(カウンセリング専攻)修了、2015日本大学大学院理工学研究科(医療・福祉工学専攻)満期退学				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手 1998東京女子医科大学看護学部助手 2000埼玉県立大学保健医療福祉学部講師 2005埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授 2007埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授 2009埼玉県立大学保健医療福祉学研究科(前期課程)准教授 2011埼玉県立大学保健医療福祉学部および保健医療福祉学研究科教授 2013埼玉県立大学地域産学連携センター副所長 2015埼玉県立大学保健医療福祉学研究科(後期課程)教授 2016埼玉県立大学学長補佐 2017埼玉県立大学副学長兼研究開発センター長				
所属学会(役職)	日本看護研究学会(評議員・査読委員)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(監事)、日本人間工学会、日本人間工学会関東支部、日本ヒューマン・ケア心理学会、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学会				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
1	該当なし				
(2) 論文					
1	手洗いに對する皮膚バリアクリームの有用性の検討	共著	保健医療福祉科学;7; P90-95	○五十嵐駿、鈴木玲子	2017
2	医療機関に勤務する中堅看護師に向けた現行教育プログラムの現状と課題	共著	保健医療福祉科学;7; P32-39	○唐沢博子、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、宮部明美	2017
(3) 学会発表					
1	看護師の継続教育におけるPBLを活用した研修プログラムの実態と評価	共著	日本看護学教育学会第27回学術集会、沖縄	○常盤文枝、鈴木玲子、山口乃生子、大場良子、宮部明美	2017
2	PBL・TBL混合型教育プログラムの評価ー2年間の縦断調査からー	共著	日本看護学教育学会第27回学術集会、沖縄	○宮部明美、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子	2017
3	現行教育責任者が期待する中堅看護師の能力と院内研修の実態	共著	第37回日本看護科学学会学術集会、仙台	○唐沢博子、鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、	2017
4	アクティブラーニングによる看護教育プログラムの評価ーTBLを用いてー	共著	第37回日本看護科学学会学術集会、仙台	○鈴木玲子、宮部明美、常盤文枝、山口乃生子、大場良子	2017
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))	看護師のキャリア開発に資するPBLを活用した教育プログラムの検証(研究代表者)			2014.4~2018.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発(研究分担者)			2016.4~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	看護学入門	2017.4~2017.7	入学間もない看護学科学生に向けた授業で、がダンス、グループワーク、ディベートなどの授業を担当した。		
2	リハビリテーション看護	2017.10	リハビリテーション看護を地域包括ケアシステムの視点から解説し、医療機関と在宅の連続性でお伝えられるよう教授した。		
3	成人看護学 I(概論)	2017.10~2017.12	国内外の成人保健の動向を踏まえた教授内容で構成した。また講義方法は、学生が主体的に学習できるアクティブ・ラーニングで行った		
4	看護研究	2017.10~2018.2	教員の研究分野を意識してオムニバス授業を構成し、文献検索の演習も行っている。また今年度はSPSS解説などを追加した。		

5	基礎看護技術・看護工学	2017.4～2017.7	工学的視点で看護研究を紹介しながら、研究手法への理解を深め、看護技術の教育方法についても教授した。
<b>(2) 演習</b>			
1	成人看護学Ⅲ(急性期)	2017.11～2018.1	TBLなどアクティブ・ラーニングを積極的に導入して教授した。
2	卒業研究	2017.04～2017.12	準実験研究(2名)と文献研究(2名)で、それぞれに取り組みたい研究テーマに沿って、個人指導を充実させた指導を行った。とくに実験研究では信頼性のある計測方法での指導に努めた。
<b>(3) 実習</b>			
1	成人看護学実習Ⅰ(周手術期実習)	2017.5～2017.6	外科病系病棟での8週間にわたる実習指導において、実習補助教員を補佐・指導すると共に、必要時、病院や学内で学生の個別指導にあたった。
2	成人看護学実習Ⅲ(災害看護実習)	2017.09	実習計画の内容確認と運営課題を把握するとともに、次年度以降の実習地確保などを検討した。
3	総合実習	2017.09	成人看護学領域担当内での総合実習の運営内容や運営課題を把握するとともに、次年度以降の実習地確保などを検討した。
4	IPW実習	2017.6～2017.10	医療機関をフィールドに、教員ファシリテータとして学生を指導した。
<b>(4) 論文指導</b>			
1	博士前期課程	2017.4～2018.3	主指導:2名 副指導:1名
2	学部卒業研究	2017.4～2016.12	4名指導
<b>(5) その他</b>			
1	埼玉県立大学認定看護師教育課程(緩和ケア)	2017.10	科目「緩和ケア総論」において、対象理解に活用できる中範囲理論「危機理論」「ストレスコーピング」「自己効力感」「不確かさ」について講義を担当した。
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	外部講師	自治医科大学付属さいたま医療センター看護部	エデュケーションナース研修
			開催年月
			2017.9-12月(2回)
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立常盤高等学校	スーパープロフェッショナルハイスクール事業運営指導委員	2014.4～現在
	埼玉県看護協会	ナースセンター事業運営委員会委員	2017.11～現在
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	教育経営審議会 委員		
2	男女共同参画推進委員会 委員長		
3	創立20周年記念行事実行委員会委員(総務部会長)		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
	該当なし		